

# エルムだより

創刊号  
2018.6

未来を担う卒業生紹介

「北大キャンパスでおいしい牛乳を作る」  
— 北海道の持続可能な酪農を目指して — 4

- [ご挨拶] エルムだより創刊にあたり ————— 2  
石山 喬 校友会エルム会長
- 校友会エルム活動状況報告 ————— 6  
東京オフィスにおいて「就職相談会」を開催  
平成 30 年度「国際インターンシップ」への支援を実施
- 「北大みらい投資プログラム」へのご協力のお願い ————— 7
- 基礎同窓会会員のみなさまへ ————— 8



北海道大学校友会エルム  
HOKKAIDO UNIVERSITY  
ALUMNI ASSOCIATION ELM



## エルムだより創刊にあたり

連合同窓会が校友会エルムとして改組され2年が経とうとしております。

2016年6月1日の設立総会を「全ての北海道大学関係者の諸君、雄々しく聳えるエルムの梢の下に今こそ集わん」と高らかに宣言してスタートしました。

北海道大学は、2026年に創基150年を迎えます。この重要な節目を迎えるに当たり、本学は大学が社会に対して果たすべき役割を深く認識し、建学以来の基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」を元にして、「世界の課題解決に貢献する北海道大学」に向けて長期目標を立て大学改革を積極的に進めております。この改革プラン（北大近未来戦略150）を実行していくに当たっては、大学だけでは、人材、財源、組織力等全てにおいて充分ではありません。全ての北大関係者、「卒業生、教職員、在学生、保護者」までが力を結集して大学の支援に尽力していく必要があります。

発足以来エルムは会則の整備、各学部及び各地区同窓会との連携の枠組み、名簿の構築等の組織運営上の決め事を進めながら、実活動として、新入学生の勧誘、企業研究会を通じた運営資金の確保、地区同窓会への通信費補助、新渡戸カレッジフェローの推薦、フロンティア基金への寄付、産学連携研究へのサ

ポート、海外インターシップ事業への支援等を行ってきました。しかしこれらの活動ではまだ大学の外縁に触っている程度です。

現在国は財政逼迫のため国立大学の運営交付金を毎年削減しており、大学は研究開発の推進、グローバルな研究開発体制、人材確保等、北大近未来戦略150推進のためにも財政の健全化は喫緊のテーマとなっています。

この点が校友会エルムの一番力を発揮するべきポイントと考えています。そして、私達北大関係者全てが大学の実情を深く理解し、それぞれが大学に対して自分の可能な分野での支援を行い、北大のブランド価値を高め、そこで育った学生や研究者達が日本を他国から尊敬されるような国としてリードしていける人材として成長されるよう最大の支援をしていきたいと考えます。

大学の実情を詳しく知りたい方、あるいはフロンティア基金以外での大学への様々な支援活動を考えられる方は是非校友会エルム事務局に連絡を下さいますようお願いいたします。



平成30年6月吉日  
校友会エルム 会長 石山 喬



新社会人歓迎 「北大東京ジンパ2018」

平成30年5月20日(日)北大東京同窓会主催で、東京都立川市「国営昭和記念公園」バーベキューガーデンにて開催。天気にも恵まれ母校への熱い気持ちと笑顔が一杯の会場に900名を超える参加者に加え on ちゃん(本学2年生)も参加し、大いに盛り上がりました。

(c)HTB



# 北大キャンパスで おいしい牛乳を作る

ー北海道の持続可能な酪農を目指してー

北海道大学(北方生物圏フィールド科学センター)助教 三谷 朋弘

## 北海道への 強い憧れから北大へ

北大入学の経緯

生まれも育ちも京都府の京都と奈良の県境にある田舎町で、小さい頃から生き物に興味があったこと、また、近所に住んでいた祖父母が農業を営んでおり、農業経営にも興味があったことから、大学進学にあたっては、漠然と農学部か獣医学部に進みたいと考えていました。

北大を選んだのは、北海道に対してずっと良いイメージを持っており、親元を離れて一人で生活したいという気持ちもあって、北大農学部に入學しました。

学生生活

## やり残したことを求めて 大学院へ

農学部入学後、学科の志望にあたっては、なんとなくおもしろそうだと思ひ畜産科学科に進みましたが、学部時代を振り返ると学業にそれほど熱心な学生ではありませんでした。

4年次になってこのまま卒業してしまうと何しにわざわざ北大農学部に来たのかといった気持ちと、研究室の指導教員の先生方が魅力的でも

に乳牛の放牧研究をしていた僕にとって衝撃でした。

四季で風味が変化する牛乳、それで良いんだ、いやむしろそれが良いんだ、と意識が変わった瞬間でした。

北大農場での取組

## 牛を牛らしく健康に飼う

現在の国の進める酪農業に対する支援策は、大規模化、労働の効率化を求める内容となっています。効率化により、1頭あたりの生産量を増やすため、牛に穀物などを多く食べさせる傾向があります。穀物の一つである飼料用とうもろこし等は、国内では、ほぼ生産されておらず、外国からの輸入に頼っており、乳の生産量は増えますが、穀物価格の不安定さによるコストも増大することとなります。

また、乳の量は増えますが、結果的に寿命が短くなっている実状もあります。北大農場では、草などの粗飼料を中心に牛を健康な状態で飼育することにより、味と香りの良いおい

## おいしい牛乳を 作ることもなった理由

本学修了から現在まで

博士課程修了後の経歴はプロフィールのとおりですが、2006年に北大創成科学共同研究機構に開設された明治乳業「乳の価値創造研究」寄附研究部門に採用され、「循環型酪農による高付加価値牛乳生産システムの構築」に関する研究に4年半従事しました。

明治乳業は、本学OBの中山悠氏（1960年農学部卒）が社長就任時から、牛乳のおいしさを追求することを提唱し、「明治おいしい牛乳」を牛乳のトップブランドに育てた経緯



▲牛の共進会で、院生時代（2001年修士2年次）

しい牛乳を生産することを目指しています。比較的牛の寿命も長く、こういった小規模な経営でも結果的に経営の採算が取れることを実証したいと考えています。



▲現在、百年記念会館1F(北9条西6丁目)「北大マルシェ Cafe & Labo」において「北大牛乳」の製造・販売を行っており、「四季の牛乳」を提供中。

## 恵まれた自然を活かして

北海道の酪農業発展に向けて

北海道内で酪農業を営んでおられる方の中にもあえて大規模化や効率化を目指す、自然な状態で草を与え低コストで長く牛を飼うことで経営が成り立っている事例もあり、新規の就農者はむしろこちらを目指す方も多くなっています。

また、もう一つの大きな視点として生産量を増やす効率化ではなく、北海道の「おいしい牛乳」という付加価値を確立することで、今後、TPPなどにより海外から安い乳製品が入ってきた場合でも、本道の酪

もあり、ここでは、「おいしい牛乳を生産するにあたって、牛の飼料にまで配慮して作る。」ことを求められました。

今、振り返ってみるとここでの研究活動のなかで、魅力ある酪農家との出会い、フランスの山岳酪農の視察などを通して、酪農に関する考え方が全く変わり現在に至っていることとなります。

おいしい牛乳を作る

## 牛乳の味の違いを探る

大学院では、一貫して乳牛の放牧時の栄養や効率的に乳を搾ることを主眼にしましたが、酪農家を廻って色々な牛乳を飲み比べたところ、生産地（酪農家）によって味が違うことがわかり、その理由は当たり前ですが、牛に与える飼料によるものと気付きました。

現在、北海道でも主流である穀物を多く与えた牛と草を主体として飼った牛の牛乳は明らかに味が異なり、味を判断する要素で一番影響を与えるのは香りであることにも気付きはじめました。

香りに関しては、牛乳の製造方法によるところもあり、高価なブランド牛乳は低温殺菌処理により、本来

農が持続的に可能となるような方策を示していきたいと考えています。

次代を担う世代へのメッセージ

## 失敗しない限り成功はない

第一に人や自然に対して素直であること。そして、先に頭で考えて「できない」と判断するのではなく、失敗するつもりでチャレンジして欲しいと思います。

自分の経験から、失敗しない限り成功はないと強く感じています。

## Profile

| 〔略歴〕    |                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|
| 2000年3月 | 北海道大学農学部畜産科学科卒                                                        |
| 2002年3月 | 大学院農学研究科生物資源生産学専攻博士前期課程修了                                             |
| 2005年9月 | 博士後期課程修了                                                              |
| 2005年4月 | 農研機構北海道農業研究センター研究補助員                                                  |
| 2006年4月 | 農研機構畜産草地研究所（つくば）研究補助員                                                 |
| 2007年4月 | 北海道大学創成科学共同研究機構（のちに創成研究機構）<br>明治乳業「乳の価値創造研究」寄附研究部門 博士研究員<br>（のちに特任助教） |
| 2011年7月 | 北海道大学大学院農学研究院 博士研究員（のちに特任助教）                                          |
| 2014年9月 | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 学術研究員                                           |
| 2015年2月 | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 助教（現職）                                          |
| 現在に至る   |                                                                       |



# ・ 校友会エルム活動状況報告 ・

## 東京オフィスにおいて「就職相談会」を開催

北海道大学校友会エルムでは、4月11日（水）、5月16日（水）の2回、北海道大学東京オフィスにおいて、「OBとの就職相談会」を開催いたしました。

今回の催しは、東京を拠点として就職活動を行っている就活生を対象として、大手企業の採用業務に豊富な経験を有するOBから、採用側の視点でアドバイスをいただくことを目的として実施したものです。

今回、お引き受けいただいたお二人  
萱野聡（法昭62年卒） 高橋寛（農昭62年卒）  
の校友会エルム就職・活動支援委員会委員は、企業の採用業務での豊富な経験に加え、企業の業績等の現況も把握されており、出席者からの質問に対し

て、経験と高い知見に裏付けされた的確なアドバイスがなされ、参加者アンケートでは、全員から「参加して良かった」との回答をいただきました。

また、希望者に対しては個別相談にも対応していただき、就活生が就職を希望する企業に対して、委員から当該企業のOBに直接面談の機会設定をいただく等、まさに校友会エルムの目指す「同窓生のネットワークを活用した就職支援」となりました。

本事業につきましては、校友会エルムにおける学生支援策の主幹事業として継続して実施していきたいと考えておりますので、OBによるご支援及び会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。



## 平成30年度「国際インターンシップ」への支援を実施

本学においては、平成28年度より国際的な就業体験を通して総合的な人間力を培うとともに異なる社会・文化状況の中で国際性とリーダーシップを醸成することを目的として、「国際インターンシップ」を実施しているところです。

過去2年間の実施状況を踏まえ、同事業については、校友会エルムの同窓生参画・協力による産学連携教育の目玉事業とするため、平成30年度の実施に向けて、本学OBが在職する企業を中心に派遣学生の受け入れをお願いしたところ、60名を超える受入先を確保することができました。

このため、同事業の推進及び派遣学生の経済的負担軽減を目的として、派遣決

定された学生全員に一律8万円の奨学金を支給することといたしました。

今後、派遣学生の現地での活動状況や成果報告などもお知らせさせていただく予定であり、同窓生の皆様には、本事業に対して海外拠点で学生の受け入れ等のご協力をいただける場合は、校友会エルム事務局あてご連絡をお願いいたします。



卒業生の皆様へ

# 「北大みらい投資プログラム」へのご協力をお願い

このたび北海道大学では、より実践的なリーダーシップ教育を実施するため、

また研究者が世界に誇れる先端的研究を行う環境を整えるため、

北大フロンティア基金の中に「北大みらい投資プログラム」を創設しました。

皆様からのご寄附は、苦学生の修学、海外留学、特定の研究、部活・サークル活動など、皆様のご指定される使途に使用いたします。

後輩学生へのサポートとして、卒業生の皆様からのあたたかいご支援をいただきたく、心よりお願い申し上げます。



## 4つのプログラムメニュー

4つのメニューから、サポートしたい取り組みを指定してご寄附いただけます。



### 給付型奨学金

北大への進学や修学継続への意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学等を躊躇している学生に対し、返還の必要のない「給付型奨学金」を交付し、進学等をサポートします。

- 進学サポート奨学金
- 修学継続サポート奨学金



### 海外留学・インターンシップ等資金

明確な目標を持った優秀な学生の海外留学、研修の渡航費用等をサポートし、グローバル人材を育成します。

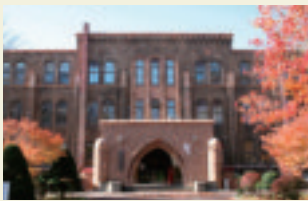
- 海外協定校等派遣・海外語学研修への支援
- 短期留学・研修・国際インターンシップへの支援 等



### 課外活動等支援資金

部活動・サークル活動や全学生が使用できる施設の整備など、課外活動の充実を図ります。

- 運動部・文化系サークル支援(個別指定可能)
- サークル会館、体育館、グラウンド整備への支援 等



### 使途指定資金

特定の学部や研究分野など、本学が実施する活動の中から、寄附者自身が使途を特定できるプログラムです。

- 特定の学部等への支援
- 特定の研究分野への支援 等

## 寄附方法



PCから

北大フロンティア基金HPIにアクセスして下さい。  
<https://www.hokudai.ac.jp/fund/mirai.html>

北大みらい投資 |

検索



スマホから



振込用紙から

振込通知書に必要事項をご記入のうえ、郵便局・銀行の窓口でお振込み下さい。

## 継続寄附のご案内

クレジットカード決済、または口座振替により、継続寄附(毎月・年2回・年1回のいずれかの自動引き落とし)をご利用いただけます。お申込み後の内容変更や解約もインターネットで随時行えます。

お問い合わせ先

北大フロンティア基金事務室

〒060-0809 札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学 百年記念会館内

TEL 011-706-2017 FAX 011-706-2092

E-mail [kikin@jimu.hokudai.ac.jp](mailto:kikin@jimu.hokudai.ac.jp) URL <https://www.hokudai.ac.jp/fund/>

基礎同窓会会員のみなさまへ

基礎同窓会とは、学部・研究科同窓会、学生寮同窓会、国内・海外地区同窓会の総称です。

## ご存知でしたか？

基礎同窓会会員の方は、同時に、北大校友会エルムの会員資格を有しています。

## 登録の手続きは、お済みですか？

校友会エルム会員として登録するための、手続きをお願いしております。

## 費用は、無料です。

校友会エルム設立（平成28年6月1日）以前に基礎同窓会に加入されている方は、会費不要です。

会員登録の手続き行っていた方（ご住所登録者）には、  
「校友会エルム会員章」をご送付させていただきます。

### お手続き方法

- ① PCまたはスマホから  
北大校友会エルムWEBサイトの「会員登録」をクリックします。  
<http://www.alumni-hokudai.jp/form>  
お名前、メアド、電話番号、入学または卒業または所属情報のみでOK。
- ② お電話で  
書面でのお申込みをご希望の方は事務局までご連絡ください。

#### 北海道大学 校友会エルム事務局

〒060-0809 札幌市北区9条西6丁目  
北海道大学 百年記念会館内  
TEL:011-706-2101 FAX:011-706-2010  
MAIL:kouyukai@general.hokudai.ac.jp  
HP:<http://www.alumni-hokudai.jp>



#### 北海道大学校友会エルム事務局

〒060-0809 札幌市北区北9条西6丁目 北海道大学 百年記念会館内  
TEL: 011-706-2101 FAX: 011-706-2010  
MAIL: kouyukai@general.hokudai.ac.jp HP: <http://www.alumni-hokudai.jp>

